

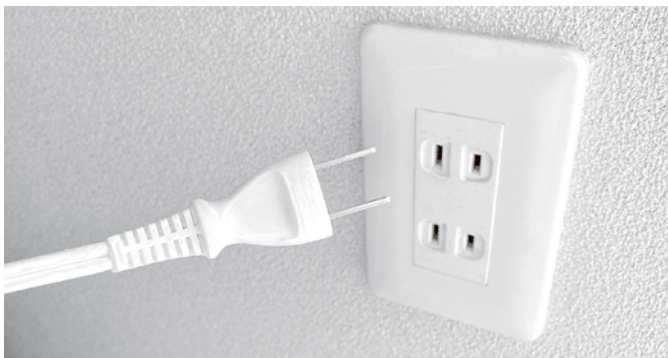
# 南阿蘇村 女性消防団 だより

Vol.8



早いもので今年も残りわずかとなりました。  
新年に向けて今年の汚れは今年のうちに…と毎年年末に大掃除をする人は多いのではないのでしょうか。年末の大掃除は、家をきれいにするだけではなく、空気が乾燥し、暖房器具を多く使用するため冬季に発生しやすい火災を事前に防ぐことにも繋がります。  
身近に潜んでいるあらゆる火災危険も一掃して、良い年末年始をお過ごしください。

## コンセント掃除



コンセントとプラグの隙間にホコリが溜まっているとトラッキング現象により、出火することがあります。トラッキング現象が起こりやすい場所のキーワードは、「ホコリ」と「水分」です。

つまり、ホコリが溜まりやすい場所と湿気が多い場所がトラッキング現象の起こりやすい場所になります。特に冷蔵庫やテレビなどといった大型家電の裏や、台所や脱衣所といった湿気の多い場所で使用しているコンセントは要注意です。

定期的にコンセント部分のホコリを取り除くことはもちろん、意外とベタベタしているコードの掃除までおこなうとより効果的です。

## 住宅用火災警報器の掃除と点検



住宅用火災警報器は、設置から10年が経過すると電池の寿命や電子部品の劣化などで不具合が発生しやすくなります。そのため、設置後10年を目安に交換することをオススメします。また、火災警報器にホコリがついていると火災を感知しにくくなります。年末の慌ただしい時季になりますが、「いざ」という時にきちんと動くよう、この機会にぜひご家庭の火災報知器の作動点検と掃除をおこないましょう。

## カセットコンロ火災に要注意！

寄せ鍋やすき焼き、湯豆腐といった鍋物がおいしい季節になりました。手軽で便利なカセットコンロは、これからの時季大活躍で、使用頻度が上がります。

しかし、使い方を少しでも誤ると爆発や火災を起します。そこで、カセットコンロの危ない使い方をいくつか紹介します。



### 大きな調理器具(鍋)を使用しない

年末年始の帰省などが重なり、大人数で鍋を囲む機会が増えます。大人数だからといってコンロを覆うような調理器具(鍋)は使用しないようにしましょう。熱がこもりやすくなり、カセットボンベが過熱され、爆発する危険性があります。

### コンロを2台以上並べて使用しない

前項目と関連していますが、カセットコンロ1台では収まりきれない大きな鉄板などを置くために複数のコンロを並べて使用すると、鉄板の下にあるユニットごと温められ、爆発を起こす可能性があります。鍋をする際も、様々な鍋の味を楽しむために複数のカセットコンロを使用したり、コンロ同士をくっつけて使用することは危険ですので、絶対に避けましょう。

## 最後に…

感染症予防のため、自宅で過ごす時間が多くなるかと思えます。この機会にご家庭で対策を共有し、安心・安全に今年の冬を乗り越えましょう！

